

C-8 女川線北上川橋梁井筒沈下工事に就て

准 林 英 祐

(鐵道省盛岡建設事務所技手)

C-9 碎石砂利生産施設の一例に就て

庄 子 吉 光

(東京鐵道局國府津保線事務所技手)

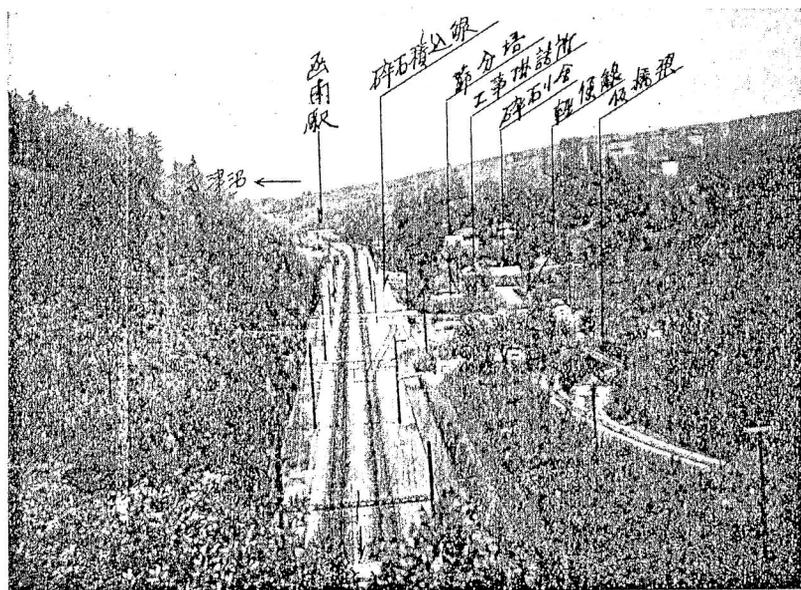
1. 緒 言

近時鐵道の列車速度昂上、運轉回數の増加、通過廻數の増加等に作つて著しく軌道の破壊力が増大し保守困難を來し之が對策として道床砂利の碎石化が喚ばれて來た。之の要求に依つて東海道本線函南驛構内に碎石工場を設置したものである。

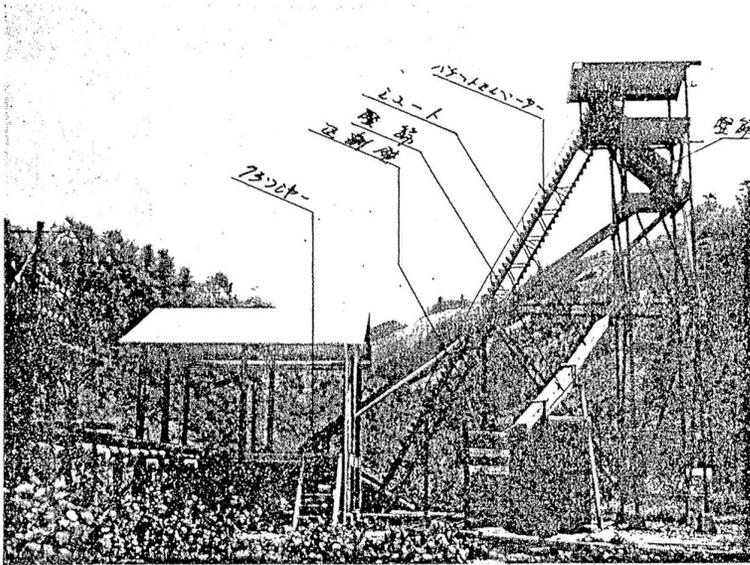
2. 設 備

主體設備として「ブレーキクラッシャー」(400耗×230耗モーター15馬力)1臺、「バケツエレベーター」(モーター、7.5馬力)1臺で篩分塔上に堅篩を設置した。附屬建造物としては碎石小舎、輕便線、シュート、區劃壁、工事掛詰所等である。尙積込線増設と共に一部線路變更をなせり。全設備費は約50000圓を要し、昭和12年12月工事着手し電氣保安裝置を除く其他のものは既に竣成済であつて6月から作業を開始して居る。

圖 - 1



圖一 2



之の設備の内整備の決定に當り傾斜角度、篩巾及び長の決定及び轉落抑制吊金に就ては實驗値を以て決定をした。

3. 經營

何れの企業も經濟的價値の調査は勿論で特に本事業は嚴密なる調査を必要とするものである。即ち原石其の他の調査更に生品生産に於ける量的變化による實驗値を得た。

即ち需給の關係、用地費、設備費、利子及び償還金、維持費、原石費、碎石費、貨車積込費、監督及び事務費、運送費等に亙り研究を要し、之等の費額に就て調査をなし一般市場のものと比較せり。

4. 結 言

碎石が道床用として推奨せらるゝ所以のものは茲に贅言を要しない。尙我國に於ける“Rock Product”更に“Rock Industry”と言ふ事の將來性を考慮するときは本施設を各所に設置せしむるの要あるを痛感するものである。而して碎石場の適當なる位置は普遍的に求むる事はあまり可能的でない。又岩質的にも片寄る事が多い。故に本計畫樹立に當つては其の生産に對し位置、設備、作業方法並に輸送關係等に特段の工夫を凝し製品の多角的利用を考慮し、最大の經濟價値を發揮せしむる様設立すべきであり本施設は其の一例である。